

## 御宿小学校校舎更新に係る経過説明会議事録

日時：令和4年11月25日（金）

午後7時から午後8時25分

場所：御宿町公民館大ホール

### 1. 開会

（事務局）それでは定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただ今より御宿小学校校舎更新にかかる経過説明会を開催いたします。

（事務局）まずはじめに石田町長よりご挨拶申し上げます。

### 2. 町長あいさつ

（町長）皆様こんばんは。町長の石田でございます。

本日皆様方には大変お忙しい中、またお疲れのところでございますが御宿小学校の更新に係る経過説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。日頃皆様方には教育行政をはじめといたしまして、行政全般にわたりまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

本年5月24日に御宿小学校の更新に係りますご案内を皆様方にさせていただきました。御宿小学校は老朽化が進みまして、建て替えの時期が近づいております。そういう中ですね、これまでさまざまな教育環境の改善を行ってまいりました。トイレの改修をはじめといたしまして、コロナ感染症拡大防止対策、エアコンの設置などを行ってりましたが、御宿小学校は建築してから54年が経過してございます。コンクリート構造物につきましても、一般的には60年が耐用年数と言われております。そういう中で令和9年3月が耐用年限になっておりますので、更新につきましても、準備に入っているところでございます。本年3月に教育施設検討委員会を設置いたしました。この委員会はですね、まず議会議員の皆様方、そして保護者の代表の皆様方、そして教育団体の代表の皆様、さらには各学校の校長先生の皆様、11名で構成されまして、これまで様々なことについて検討協議を行っていただきました。その中の一つといたしまして、建設候補地の選定という内容がございます。これにつきまして、現段階でご意見をいただいているわけですが、会議の始めにですね、町執行部からお願いを申し上げまして案としまして、四つの候補地を候補地を提案させていただきました。

1つには現在、御宿小学校が建っている場所でございます。2つ目が御宿。中学校が建っている場所でございます。3つ目が線路の反対側になりますが、B&G海洋センター、町営グラウンドなど付近の土地でございます。4つ目が布施小学校が建っている場所でございます。この四つについて、執行部よりご提案をさせていただきます

て検討をお願いしたわけでございます。

この選定するにあたりまして、いくつかの点について、考慮してほしいということをお願いいたしました。

1つ目としてですね、皆さんもご承知のように、東日本大震災の教訓を生かして海に面するわが町はやはり大きな地震があった場合、津波災害を考慮しなくちゃいけないということでございます。2つ目にやはり教育、また勉学に親しむに周囲環境が静かである。3つ目に今人口減少が進みまして、同時に児童生徒が減少しつつございます。およそのことでございますが、現在御宿町人口は7200人でございます、そういう中で御宿中学校、小学校の御宿の子供達はおよそ合わせまして300人でございます。これがおよそ20年後になりますと社人研の発表、社人研といいますのは、国立社会保障人口問題研究所の略でございますが、推計としまして、20年後に御宿町の人口およそ4800人。そういう中で、7200人に対して300人の子供たち4800人になりました。約7200人から4800って言いました。約65%減ですが、300人の約65%、およそ200人です。子供たちがやはり20年後には全部合わせて200人前後になると予想してもよろしいんじゃないかと思っておりますが、そういう中で、これからの教育方針としてしましては、やはり小中連携教育、小学校と中学校が一緒になって、こういう方針が非常に今望まれていますという状況になると思っておりますので、こういう方針をとり入れていただけますかということでございます。4つ目は財源の問題であります。やはり今どちらも自治体も非常に財政状況が厳しい中にありますが、余りにも過大な建設事業費はどうか、そうならないようにして欲しい。この四点について、お考たきまして、今申し上げました。四つの候補についてご検討をいただいたわけでありまして、これまで4回の会議、現地視察を含めまして、開催していただきましたが、結果ですね2つに選定していただきましたのが御宿中学校、布施小学校の所在する場所でございます。そういうことですね、今日を迎えてございますが、この22日にですね。第一回目のこの説明会を行いました。御宿中学校の保護者の皆様方を中心とした説明会でございますが、その中で一つご意見があったのはどうして御宿台が候補にならないのですか。というご質問いただきましたけど、ご承知のように、おんじゅく認定こども園がございまして、その隣にですね、空き地がございまして、あそこは町有地でございますが、少し狭いんです。10,000㎡程度です。今およそですけど、中学校が32,000㎡、そして御宿小学校が27,000、8,000㎡と思っております。そのぐらいでございますので、やはり運動場などできませんので、かといって御宿台に土地を購入して建てた場合は、やはり土地代金が高額になりますし、同時に配管から校舎から全ての施設を作らなきゃいけないということで、かなりの事業費になりますので、この候補になりにくかったということでございます。これから今、2つの候補地が挙がっておりますが、これは決定ではございません。検討委員会のご意見として伺っております。そういう中で、皆様方、保護者の皆様方にご説明をこれまでの経過をご説明させていただきまして、児童生徒数の推移なども説明をさせていただきまして、色々なご意見をいただきたいと思います。最後になりますが、アンケートにつ

いてお願いをしたいと考えております。後ほどそのアンケートの内容を説明をさせていただきますが、皆様方のご意見をです。今上がっている2つの候補を一つにどちらかを考えていただければ、それに際しましては、この4回、今日2回目なのですが、明日午後2時からと午後4時からあと残り2回説明会行いまして、皆様方のご意見などをお伺いしまして、合計4回にわたる説明会のご意見をまとめまして、そのアンケートと一緒に送付させていただき、いろんな経緯とか別添資料として、皆様方がアンケートとしてお答ただく判断の参考になるための資料も添付してご送付させていただきたいなと思っております。およその時期につきましては、明日の説明会を受けまして、年内には、ある程度資料をお送りいたしまして、送付後何日か経ってお答えいただくと、そのようなことをご参考にさせていただきまして、これからの更新場所を徐々に固めていきたいなと考えております。これからのスケジュールまた、これまでの経過説明、そして児童推計などをご説明させていただきますので、よろしくお願いたします。このようなことをお伝え申し上げまして、簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いたします。

(事務局) それでは、本日出席の職員の紹介をさせていただきます。石田町長です。よろしくお願いたします。

前森教育長です。どうぞよろしくお願いたします。

吉野教育課長です。よろしくお願いたします。

私は本日司会進行を務めさせていただきます。平松です。よろしくお願いたします。

### **3. 議題**

#### **議題1 御宿町の今後の児童生徒数について**

平松主査より資料1により説明

#### **議題2 御宿小学校更新に係る協議経過について**

吉野教育課長より資料2により説明

### **4. 質疑応答**

(事務局) ただいま事務局よりご説明させていただきました。これより質疑に入らせていただきたいと思います。ご説明させていただきました。内容につきまして、皆様からご質問等ございますでしょうか。ご質問等々ありましたら挙手にてお願いたします。

(保護者) 御宿中と、布施小の2択になって、御中と布施小に作るものというのは何ですか。

(町長) 先ほど吉野課長が説明いたしましたが、御宿中学校の場合はですね。中学校建設が平成17年だったと思うんですが、現在までおよそ17年ぐらい経ってまして、少しずつ生徒の数が減ってますので、教室に余裕が出ています。それと特別教室等の教室がございますけど、御宿中学校に小学校を作った場合は、小学校の部分は別棟に建てます。ただ、特別教室は共用になります。体育館はもし小学校と兼ね合った場合はB&G海洋センターの体育館も利用も考慮に入れます。

先程課長が申しあげましたが、やはり駐車場の確保とか入り口はですね、広く改善します。やはり今のままでは全然狭いですから。校舎に向かって浅間山の参道が右にありますけどあそこの入り口などを拡張しましてね。そして右奥の方、向こうの駐車場なども幾分か当然広めにとって、敷地内の校舎の場所はまだまだ確定しておりませんが、少しお話申し上げますと、今の中学校は階段の高さなど、小学生が使える感じになってるんです。ですので、小学生の子供たちの方が数が多いので、今の中学校を小学生に使わせていただいて使ってもらって、生徒数の少ない中学生の校舎をしようかなと思ったところがですね。いろいろ検討、研究しましたら、現在中学校がありますので、そういうふうにするということは補助金が出ないんです。国の建設補助金、リニューアルにしても、新たに例えば、小学生が今の中学校校舎を使うということになりますとなかなか難しいということで、やはり中学校は中学生が使って、新たに小学校を敷地内に定めて建てる。共有施設特別教室等、あるいは体育館も共有して使うというようなことになると考えています。もう1点は布施小学校の場合は兼ねてご説明させていただきましたけど、現在の教室が普通規格より、小さいんですね。ですから、もし御宿小学校、布施小学校一緒になった場合は全部壊します。建て替えます。そういうことで、かなり事業費もかかります。体育館はまだまだ十分に使うことができると思います。およそのことはそういうことでございます。以上になります。

(事務局) 他にございませんでしょうか。

(保護者) すみません、ご説明ありがとうございました。もう少しですね、建築後、どこの場所に建った時に、どういったふうに生徒達が過ごせるのかっていったところを、先ほどメリットデメリットあったと思うんですけど、例えば心配なことで挙げられたことが実際解消されて学べるのかですとか、そういったところも含めてご説明いただいた方がもう少し選ぶ側としては参考になるのかなと思いましたが、例えばなんですけれども、御宿中学校に建てるとなった場合に、中学校の先ほどの更新の問題だけではなくて、部活と、小学生の放課後が共存するってどうしたら成り立つのかですとか、そういったところも、保護者としては非常に気になったことではありますし、安全に関わるところかなと思いますので、そういったところもぜひ、今ご説明いただけるのであればいただきたいですし、難しいのであれば、アン

ケートまでに資料としていただければと思います。よろしく申し上げます。

(町長) はい、ありがとうございました。今のご質問のご趣旨を充分理解いたしました。例えば、中学校に行った場合、今ご心配なさっている点については、この時点で可能な限りの資料は一緒にご提出させていただきます。ご心配されますよね。小中一貫という方向を目指した場合ですね、小中連携を初めに考えており、それから一貫に進みますけれども、その過程ごとに色々な物事をよく精査して、整理して進めていかなきゃいけないということで、アンケートの段階で 100%当然なかなかご説明できないと思うんですが、可能な範囲で添付資料としてつけさせていただきたいと思います。はい、よろしく申し上げます。

(事務局) 他にございますでしょうか。

(保護者) 小中一貫校に進むのは大賛成なんですけど、中学校と一緒に建てるのもすごくいいと思うんですけど、中学生は、基本的に車で行くことが多くて、今 100 人ぐらいしか中学生なくても、毎朝ローソンの前は渋滞してて、それが、今度小学生が一緒になった時に、小学生は、基本的に歩いてくると思うんですけど、道路の整備とか、雨の日の入り口をローソンの前にしちゃうと、もう国道が大パニックになってしまうので、その辺の道路を整備してもらわない限りは、この道路は、朝 7 時から 8 時、混雑してるんですけど、その辺も全部変えてもらわないと危ないと思うんですけど。

(町長) はい、ありがとうございます。ご指摘のようにですね。現在でもかなり混雑があるということをお伺いしておりますけど、そういう中で入り口、国道から入る入り口付近とか、奥の駐車場、入ってすぐ広場がありますけど、また右奥にも駐車場スペースもありますけど、その辺は、ロータリーはしっかりと整備しなくてはいけないと思っております。また、同時にですね、今ご指摘がありました商工会の前の信号から、高山田のところに抜ける道ですね。その活用といいますか、まだそちらの方向にある門の活用とか、そういうことは合わせて考えていきますので、その辺は本当に非常に重要なことであると認識しておりますので、現段階でご説明できる資料については添付させていただきます。はい、よろしく申し上げます。

(保護者) すみません、今の質問とかぶるんですけども、町長からのご回答を少しだけいただきましたが、やはり私も同じことを考えてまして、国道から入るところはすごく危険で、出入りに注意しないと必ず交通事故がおきます。で、ここに現地の視察をされたと書いてありますが、いつ、何時ごろ、雨の日とか混雑時とかもきちんと見たんでしょうか。

この辺が改善されないとだいぶ厳しいと思います。

(町長) はい、ありがとうございます。4か所を視察いたしましたけど、天気の良い日ですね、場所の確認と、大体の全体の配置の確認はいたしましたけど、混雑状況とか、そういう時刻ではございませんでしたので、視察しませんでしたけど、今申し上げましたように状況としては十分に想定できますので、困難性がないように検討をしていきたいと思えます。

(保護者) ぜひ想定ではなくてですね。実際にその時間帯、混雑する時間帯とかを必ず見ていただいて、中学校の保護者が雨の日の送迎がどういう状況なのか、小学校の送迎がどういう状況なのか、それが重なるという日が一日でもあるのであれば、それがどういう状況になるかというのをそこで初めて想定することであって、まずはじめに現状の混雑している時間帯とかを必ず見ていただかないと、内容が薄すぎて頭にくるといふか、そんなうわつらの安全確保しますとかって言われても、納得できないので、必ず混雑時、朝夕雨の日とか頑張って自転車で走ってる子もいますけど、そういう子達にも危険があってはいけないので必ず見ていただいた上で会議等を開いていただきたいと思えます。

(町長) はい、わかりました。これは、検討委員会の皆様方にも、今言われました雨の日の中の混雑の状況など、充分にご確認いただきます。当然、私たちも行きますけど、また関係者の皆様方々に見ていただいて、とにかくできるだけ事故のないように安全の中でしっかりと対応できるように考えていきたいと思えます。

(保護者) 度々失礼します。今やはり通学の問題というのがあったので、質問というよりはリクエストとして、マイクをいただいてしまったんですけども、先ほど布施小のところではスクールバスの検討という話が出ていたと思うんですけども、御中でもスクールバスを検討いただけないかと思っております。私の方で調べた資料、古いんですけど、文科省の資料でも、千葉県でも20%以上はスクールバスの導入があったりですとか、一つの目安として、4キロ以上であれば、スクールバスを検討するみたいなところも確認しておりますので、例えば御宿台から、御宿中学校に行くのも約4キロになると思うんですね。多分一つの話に先ほどから安全性というようなキーワードが出てたと思うんですけど、ぜひスクールバスの検討といったところも一つの混雑の解消にもなるでしょうし、子供の安全を守るといったところでご検討いただければと思えます。お願いします。

(町長) はい、ありがとうございます。ご指摘のようにですね。中学校に例えば行ったとしても、スクールバスは設置します。国における標準的な基準もありますけど、そういったものを参考にしまして、子供たちの安全を守っていきたいと思えます。よろしくお願いします。

(事務局) 他にありませんでしょうか。

(保護者) 途中から話に入ってしまったので、皆さん伺ってる内容でしたら申し訳ないんですけども、今回のこの建て替えに対して、何年を目途にしているんでしょうか。それと御宿小学校が確か令和8年度がリミット、令和9年の3月だったと思うんですけども、布施小学校が最後が令和6年、令和7年の3月だったと思うんですけども、布施小学校の建て替えをもし本当に検討するのであれば、果してそれで全部壊して、それが可能な範囲をみていらっしゃるのか、それって普通に考えると、厳しいんじゃないかなと思うんですね。そうすると結局、中学校になるんじゃないかなっていうイメージがすごくあります。その上でアンケートの内容も、例えばこれが布施小学校、御宿中学校のアンケートをとるという形になった場合、果たしてそこは怎么样いのお考えのアンケート内容なのか、結局、無理なアンケートであれば、それを取る必要があるのかどうか、不明確な感じがしてしまっていて、意味のないアンケートだったら逆に取らないで、もう町の方でこういう案件がこういうふうになってますから、こういう形を全部取りますから、ここで皆さんご了承いただけないですか、と言っていた方が話は早いですし、なんかそのあえてアンケートを取る意味も逆に教えていただきたいなと思います。

(町長) はい。アンケートをとるということは先ほど申し上げましたように、検討委員会の中での一つの決まったことをごさいますね。それとより多くの皆様方のご意見をいただきたいということも一点ごさいます。それと、私自身、今おっしゃられたことが、御宿小学校の耐用年限が令和9年3月なんですよね。それで布施小学校の皆様方の統合問題がございまして、この前もいろいろ大変お世話になりましたけど、統合検討委員会からのご意見で令和7年3月、令和6年度末ですね、そこに年のずれがあるんですけど、そこで今おっしゃったこと、よく私自身理解できなかったんですが。

(事務局) 布施小学校は、令和6年度で今予定しているということで動いてますけれども、令和6年度中に統合が済んで、令和7年からっていうことですよ。そうすると令和7年、8年で壊して建てるということで考えています。その年度に建てれば、御宿小学校、ぎりぎりになりますけれども建てられるということで考えておりますので、時間的には大丈夫ということになっております。

(事務局) よろしいでしょうか。他に質問ございますでしょうか？

(保護者) 現在の御宿中学校の敷地に、小学校としての建設を考えた場合、だいたいどの辺に何が建てられるのかなっていうのが気になるんですけども、現段階でなんか考えているようでしたら、教えていただきたいです。現在すでに、中学校の校舎、

体育館、グラウンド、テニスコートと決まってしまうんですけども、そこに、小学校分を建設するとなるとどの辺に具体的に建ってきて、グラウンド、テニスコートの場所をどうするかという考えが入るとか、その辺がもしあるのであれば、今のうちから知っておきたいので、教えていただければと思います。

(事務局) まだ決定的なものじゃないんですけども、ローソン側の今のアスファルトで駐車場になっている場所と中学校を結ぶような形か駐輪場のところですか。整備し直して、本校舎とつなぐような形になると思います。ただ、駐輪場の方になりますと若干、グラウンドにかかったりしますので、トラックを少しずらして配置するということになると思いますけれども、どちらかで一応、事務局としては考えています。ただ、その中でいろんなまた制約があったりすると若干変わりますので、今のところそういう2か所ぐらいの感じで考えているというところでございます。

(保護者) ありがとうございます。現在2か所で素案をお伺いできたんですけども、コンクリート部分とは体育館前あたりですか。

(事務局) 分かりづらくてすみません。入って左側の駐車場。今、先生たちが停めている駐車場側です。右側の方の体育館側の方を駐車場として考えているので、そちらには建てるつもりがなくてですね、左側の駐車場か奥の駐輪場のところで考えていくというところですか。

(保護者) そこに校舎を考えているということですか。

(事務局) 小学校の校舎を考えています。

(保護者) 小学校の校舎の規模がわかりませんが。例えば具体的に浄化槽施設ですとか、配電盤施設ですとか、給水施設があったりしますし、あとそこに校舎が建った場合、教員の駐車場がどこになるかっていうのもあると思うんですけど、体育館の脇とかに移動するかもしれませんが、教員の駐車場として幅を取られて別の体育館側に移動した場合、それこそ送迎時の車はですね、絶対あふれてしまうと思います。車を回したりして乗り降りとかっていうのはだいぶ厳しくなると思うので、その辺も踏まえて考えていただければなと思います。

(事務局) はい、わかりました。今のご意見は、先ほどの別の保護者さんもおっしゃいましたけど、スクールバスを町長は考えているということで、そういうことも含めて、渋滞解消になればという部分もでございます。あと、今スクールゾーンになっている通りですね。あちらは今、都市計画道路になっておりますけど、そちらを少し改良するとか、あとスクールゾーンを外せるようであれば、外すような形でですね。また、



これもお約束はできないんですけれども、そういう努力をしながら渋滞解消を考えておりますので、中学校になった場合はそういう形です。渋滞について、よく学校の方から報告を受けておりますので、そういう部分としては考慮には入っているということでございますので、よろしく願いいたします。

(事務局) よろしいでしょうか。他にご質問ございますでしょうか。

(保護者) 車の話なんですけど、もしイベント事があった時に保護者の車はどこに、止められる規模の駐車場を作れるのかと思ったので。お願いします。

(事務局) 小学校が中学校に行った場合については、やはり中学校だけでは当然賄いきれないので、やはりB&Gの、今テニスコートを封鎖してますけど、あの辺の敷地まで使っていただかないと車で来られた方はなかなか捌ききれないと思っています。運動会ですとグラウンドも当然使っていますので、中学校の場合はそういう感じですね。布施小学校の場合についても、同じ規模のグラウンドを整備してしまうと、やはり駐車場自体が足りなくなると想定しています。なので、布施小学校の敷地になった場合には、当然その駐車場の部分も考えていかなきゃいけないとは思っております。ただ、中学校についてはB&Gのその空いている町有地っていうものがありますので、そこの併用を考えていかないと、なかなか中学校だけで捌ききれないというところも想定の中には挙げております。

(事務局) 他に質問ございますでしょうか。

(保護者) 中学校にまだ決まったわけじゃないのですが、お聞きしたいのですが、中学校に野球部が使う野球場と、テニス部はテニスコートを使っているんですけど、それをBGの方を使うっていうことは考えてないのかと、あとBGの体育館を使う時に、BGの体育館も雨が降るとかなり雨漏りしてて、テニスコートもそのままそこを直して使うとか、そういうことは考えてないのかな。昔は使っていたんでそういう発想はどうなのかお聞きしたいんですが。

(町長) 体育館につきましては、少しずつ補修をしておりますけど、状況次第でしっかりと補修しなくちゃいけないなと思っております。また先ほどお答えがあったと思いますが、テニスコートとかグラウンドとかは今の状況は確保できるという想定の中で配置できると考えておりますので、小学校の建坪の面積とかですね、算出しなければいけませんけど、その辺は大丈夫と思っております。

(事務局) 他にご質問ございませんでしょうか。

(保護者) はい、今日は、子供たちのために検討していただいてありがとうございます。

僕の方からは、2つあって、全体のスケジュールが今後どうなっていくのか教えていただきたいです。アンケートとると書かれています、これが12月実施されて令和4年度中にどこまで進めるのかで、もうデッドラインが令和9年3月ということは令和9年の4月に建てなきゃいけないということであれば、建築期間を考えると先ほど布施小だと2年間かかるということは、もう令和6年から工事を始めなきゃ間に合いませんよね。逆に布施小に建てるのであれば、建て替えに2年かかりますし、中学校であれば多分規模が、小さい建物になると思いますので、工期が短くなるか時間があるという。全体のスケジュールはどう考えるのを教えていただきたいということと、2点目が建て替えとか更新について、例えば他の市町村とかのご意見とか視察に行かれたりとかされたことがあるのかっていうのを聞かせていただければと思います。

(町長) はい、ありがとうございます。今後のスケジュールでございますが、特に大きな問題や障害になるようなことがなければ、今年度中に場所の決定はさせていただきたい、ずれ込んでも半年ぐらいですね。それで、5年度に設計事務にとりかかりたい、6年度7年度、令和8年3月くらいまでで、9年まで1年間ございますけれども、だいたいその予定で推移することができればいいのかなと思っております。

視察は、長南町の小中学校と茂原市本納小中学校で連携教育の状況を伺ってきました。

(事務局) 今、年度のところでずれていましたので、中学校の場合は、前倒しはできるんですけども、布施小学校の場合は、先ほどお話ししたとおり7年度8年度で建てる予定でいますので、設計が早めに済んだとしてもそこになります。中学校の場合は、少し前倒しが可能だという回答でよろしいですか。

(事務局) 他にございますでしょうか。

(保護者) 2点ほど。いずれの場所に作るにしても、既存の御宿小学校の跡地の利用法を並行して議論を進めてらっしゃるのか検討をお伺いしたい。子どもの学びや交流というのは、下校のベルが鳴ったからそこで終わるといったものではないんですね。私、以前建築家の安藤ただおさんの著書の本を読んだときにですね、発展していく豊かな町っていうのは、必ず共通するものがあって、例えばヨーロッパだと広場、アメリカだとパーク、公園ですね、例えばセントラルパークですとか、渋谷区のあたりだと代々木公園、こうやって年齢問わず集える場所があると、今の下校した後の学びであり、遊びであり、交流の場、町のシンボルになるようなそういった施設を作る今回チャンスだと思うんですね。質問というより意見のほうが重なってしまいます

けども、今回跡地を並行して検討を進めていただいて、特別なものじゃなくていいと思います。公衆トイレ、水道、ちょっとしたベンチ、東屋なんかがあれば、例えば東屋でご高齢の方は将棋を指したりで、その横で子供が走り回ったり 学校終わったらランドセルをおいて、誰からともなくそこに集まるようなですね。そういったスペースをご検討いただけると、非常に個人的には嬉しいなあと思います。

あと、もう一つ。先ほどの資料なんですけれども、この先ほど流出しているであろうこの人口動態の中だけで、まだ悲観的というわけではないんですけれども、今ダウンサイジングして箱物とかを省略していくっていうだけでは駄目ですね。これもその側面的に移住者、転入者これを意識して、今度の小学校の新設ですか、何らかのその特性特色を出すとか、そういったものも並行してですね。単にその物理的な a から b にするっていうものではなくて、ソフトも合わせて。例えばほかの市町村に、お住まいの方々がこの御宿の新たな小学校、もしくは、中学校の在り方を見た時には、この街に引っ越したいな、例えば、私の息子に戻って6年と3年いますけど、6年生の子のクラスは、30 数人の中で30%以上40%に近いクラスの中の子供がですね、実は転入者です。御宿町を例えば出生の地としている方、親類がいるとかっていうそういったこの町に何らかのルーツがしかも無い転入者なんです、3割以上が。ここはですね、意識した今回の小学校の更新ですね。これはぜひしていただきたいなと思いますね。2割、3割と決して少なくはないので。かくいう、私自身もですね。ここの町に親類も正直友人すらもほとんどない中で、この町に魅力を感じてきた一人でもあるので、箱物と例えばハードだけじゃなくて、ソフトですね。先ほどの送迎バスじゃないですけど、あと部活動なんかもですね、例えば長崎市にはサーフィン部を作った中学校があります。だから、そういったこの箱ものだけじゃなくて、ソフトを合わせてですね。

例えば今、小学校でもクラブでサッカーミニバスをやっていますね。例えば、同じ敷地の中で、ある日突然、中学にあがった時にそれらがなくなって、今度はバレーと野球がいきなり登場してくるんですね。今までは物理的に別々の場所だったので、子供たちも、なんとなくまだその落としどころがあったと思うんですよ。気持ちの中で。でもこれが同じ敷地の中で ある日突然サッカーがなくなり、ミニバスがなくなり、野球が登場するみたいですね。ここら辺はそういったソフトもですね、少しその人数減少して行くという悲観的な先細りの考え方だけではなくて、新たにこの町の魅力を発信してくる。その一つになるような学校づくりをしていただきたいと思います以上です。

(町長) ありがとうございます。素晴らしいご意見ありがとうございました。

今ご意見いただきましたけど、1点目はですね。現実的に今現在については跡地の利用は実際のところまだ検討に入っておりません。ご指摘いただきましてですね、まさにその通りだと思いますので、早速ですね、可能な限り早い段階で同時に検討していきたいと考えています。もう1点につきましては、まさにその通りでございまして、人口減少が進んで子どもの数が少なくなって、本当に活力とといいますか元気がなく

なっていますが、全体がですね。そういうことで、できるだけ人口増加政策、あるいは、まさにご指摘の魅力あるまちづくり、魅力ある教育方針教育の創造を目指していきたいなと思っております。そういう意味でまた色々ご指導いただきたいと思いますが、学校の更新というのは、大きなチャンスであると思っておりますので、そこをしっかりと弁えながら進んでいきたいなと思っておりますので、またよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(事務局) 他によろしいでしょうか？

(保護者) 今お話伺ってそうだよなって思ったんです。このアンケートをするにあたり、ただ2択出すんじゃないくて、この例えば布施小だったらこう立てるこういう形にするっていうビジョンを絵だとか図でこう示して、御宿中だとかこう建てる。今までお話してるだけじゃないですか。ここに来れてない人にもアンケートは配るわけだし、ならばちゃんと例えばその出入口、ローソン前を広くするっていうふうにいってるだけじゃなくて、その選ぶ材料をきちんと提示して、こんなふうなビジョンなんだよ、こう建てるっていうことメリットとデメリットっていうことをきちんと出していくっていうことは、まずもしアンケートをするなら必要なんだろうなって思うんです。小学校のことを魅力的なものを作るすごいチャンスで大きな舵きりだなって思うんです。こうやってみんなが意見を言えてて共有できる共有できることがすごくいいなと思うので。本当に人口が増えるかどうか、その私もそうなんですけど、親類もないのに転入してきていて、それは海も山もあるから生きる力を育てられるなって思ってこちらに引っ越してきたので、これから実践教育とか生きる力とか、文科省も方針変えてるんで、ここは最先端の教育をやる小学校だよって胸張って言えるような場所を作るとしたら人口も子供も増えるとしたら御宿中に今いる中学生だけで100人で建て替える時も表見るとほぼ100人。そこに小学生も入る。前回22日の説明会でおっしゃっていたのが、児童館が古いから老朽化だから、あれももう統合して御宿中に入れちゃうっていう話もあったので、そうすると今度は放課後の学童のみんなも部活もある校庭に入るっていうのを専門家に相談をしてないで、イメージで全部統合しちゃうっていう。乱暴だなあっていうふうに、その時は思っていたんです。実際、もし素敵な魅力的な教育できた場合、今よりも増えるはずだから今でも多分御宿中にしちゃったらそうやって放課後が大変パンパンになると思うので、なのでなんか具体的に専門家に相談しないで、描いてるのかもしれないし、分からないけど、具体的に考える材料がたたき台として必要なんじゃないかなって思ったんです。私がなんとなく布施小のエリアだったらこうかなというたたき台みたいなのは落書きみたいな書いたりしたんですけど、御宿中だったらこうかなとか、そういう何かこうビジョンみたいなものをつけてアンケートなり、やってもらいたいなって思いました。とりあえず入ったのがあるので渡しときます。これが里山里海小学校みたいなイメージで、山でこういう自給自足みたいなできるとか、渚マラソンとか、そこにもある

素敵な御宿町ならではの学校だよみたいなイメージでできたらいいんじゃないかな。御宿中バージョンとかも考えてみんなで作れたらいいなと思ってますので。

(町長) はい、色々ありがとうございました。またこのようなですね。作品までいただきましてありがとうございました。今のご意見のご主旨を組んでですね。アンケート段階では全て 100%当然設計まで入っておりませんのでできませんけど、できるだけ関係者で、教育施設検討委員会の皆様方も含めましてですね。いろいろこの辺はよく煮詰めて協議しまして、できる限り資料作成をしましてですね、参考資料ということになると思いますが、そのリストを出させていただければと思います。以上です。

(保護者) 自分、中学校の方に移動するっていう感じで話させてもらいます。御宿中学校ができた時に荒れていた世代があります。その時に、もしその世代がまた来るとは限りませんが、そういう世代がいます小学校 1 年生、小学校 2 年生がいます。そうすると、もうドアを壊したりしていた世代の子たちと、小学校 1 年生 2 年生が会ったときに上級生から嫌なことを言われた時の恐怖心とか、その心のメンテナンスやケアをどう考えているのか。上の人やっば強い人に小学校 1 年生、2 年生と 3 年生ってだいぶ体格さもあるし、もう大人と子供の差があると思うので、そこで小中一貫になった場合は、そういうケアはどうしていくのかなと思いました。

(教育長) 私も長く教員をやってまして小中連携、小中一貫っていうのは経験がないものです。なので、既に行っている学校、そして教育委員会に出向きまして、どういうことなんですか、どういうものなんですかっていうことを学んできました。読ませていただきます。これからお話しすることは、私の私情を一切はさみません。教育委員会の教育長から聞いたものと、視察した時の校長先生のお話です。聞いてください。

小中連携教育。中学校の敷地内で、中学校が統合した場合、中学生になっても重要視している先生が身近にいる安心感があり、また下手なことは出来ないと多感な中学生に自覚と意識が出てくるとおっしゃってました。特に乗り入れ授業これ、中学校の先生が、小学校に行って授業を教えると、そういう乗り入れ授業がないので連携の話です。先生方には負担感がない。同じ敷地にある場合、小学生からすると身近にお手本となる中学生がいる。例えば混成合唱、あるいはポスター書き初めの作品展、掃除あいさつ運動。これも一緒によくなっておりますということでした。常に小中学校が情報共有しているため、小学校では何々だったのに、中学校では何々してくれないという苦情がなくなったと。家庭になんかお願いする場合に、小学校と、中学校の先生方が情報共有しているから、その誤差っていうんでしょうかね。差がない。小学生全学年がお手本となる中学生と接することができるっていうことで、今まで荒れていることはなかったっていうことをお話ししたかったようです。今のは私情を挟みました。すみません。そういう話をいただきました。

今のは小中連携の話です。小中一貫のお話ししちゃってよろしいでしょう。

小中一貫教育のメリット。これも私情を挟んでいません聞いたことの話です。外国語活動は6年担任がT1、中学校英語教師がT2、ALTの3人体制で指導している。発音と専門的な面も指導が行き届いている。中学校の音楽の先生の指導に、より小学生の声が出るようになった。中学校の先生方が優しく授業をしてくれるため、6年生も楽しく授業に参加している。いわゆる小中一貫教育というのは中1ギャップをなくすためなんですよ。つまり何かというと、小学校の場合には学級担任制、中学校の場合には教科担任制。そしてだんだん勉強も難しくなってくるということで、どうも不適応を起こすような子どもたちが出てくる。中学校って楽しいことなんだよっていうようなことを、中学校の先生が教えてくださったということで、6年生も楽しく授業に参加している。定期的に、中学校の先生の授業を受けたり中学校生活の様子を知ることで、中1ギャップへの効果が今の話です。小中の合同の会議を開いて教科の指導法のあり方を共通理解できた。これは、教員の話です。合同の避難訓練やあいさつ運動ができた。というようなことを話をいただきました。茂原市とか長南町では実際にこれを行っているわけなんですけども、じゃあ御宿町にもって来て、いきなりできるかなというところはなかなか難しいと感じております。でもできるかなと言うことを今現在検討中です。これは御宿町になっても布施小の方の場所になってもやはり検討していかなくちゃならないことなのかなということで、今慎重に検討している段階です。以上です。

(事務局) よろしいですか。他にご質問等ございますでしょうか。  
それではただ今皆様からいただきました、ご質問やご意見につきましては、あと2回の説明会終了後、取りまとめまして、また皆様にお知らせできればと思っております。  
それでは以上もちまして御宿小学校校舎更新にかかる経過説明会を終了します。  
本日はお忙しい中ありがとうございました。